

【健育会グループの病院・施設で働いて感じた 仕事のやりがい】

職種：看護助手 勤続年数：3 ヶ月

時期：平成30年6月

透析患者さんと触れ合って

私は前職で初めて介護の仕事につきました。それまでは事務系の仕事をしていたのですが、もっと人と触れ合う仕事をしたかったからなのです。しかし、1年ほど働いたところで腰を痛めてしまい、介護の仕事が続けられなくなってしまいました。そんな時に茅ヶ崎セントラルクリニックの求人に巡り合いました。

ここにきて最初の印象は、“患者さんも職員もなんて明るいんだろう”ということでした。コミュニケーションがよく取れていて、職員の患者さんに対する素早く的確な気配りに感心させられました。患者さんたちは2日に1度、何時間も透析を受けなければならないという大変な生活をされています。安全に、また少しでも楽しい気分で帰っていただくことがこの仕事のやりがいだと思っています。私はまだ毎日ただひたすらに業務を間違いなくこなせるようになることに手一杯で患者さんとコミュニケーションが取れる余裕がまだありません。早く業務に慣れて確実にスピーディに仕事をこなせるようになり、もっと患者さんとコミュニケーションを取れるようになることを目標にしています。

患者さんから元気を頂くことも多く、そのような患者さんにもっと寄り添っていけるような看護助手になりたいと思っています。